鷹南学園三鷹市立第五中学校　令和7年度 【　保健体育　】科　授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年	○授業規律を明確に示し、学びに向かうか環境を整える中で、落ち着いて学びに向かう環境を整えることができた。 ○スポーツには多様な関わり方あるということを示す中で、授業への取り組みの幅が増えた。	○学習を進めるにあたっての授業規律を意識して、活動できるようになってくる中で、目標を意識し、活動できる生徒が増えてきた。また、それに伴い、自身の課題を見出し、学習に取り組む姿も見られるようになった。 ○運動が盛り上がりすぎた際に、学習課題への取組みが曖昧になってしまう場面があることが課題である。	◎学ぼうとする雰囲気は作られ始めているので、今後は、生徒がより明確な目標をもち、学習に取り組むことができるよう、その都度、目標をこまめに確認する。 ○誰もが、自身の課題に応じた、目標設定を行い、スモールステップで主体的に学習に取り組むことができるよう個に応じた細かな声かけをおこなう。
第2学年	○生徒同士で互いの課題を分析し、解決に向けての手立てを話合わせる中で、主体的に活動する生徒が増えた。 ○生徒のつまずきに対して、個に応じたスモールステップでのアドバイスを行うと同時に、仲間の成功を共有する中で、肯定的な関りや声かけが増えた。	○体育委員を中心に少しずつ、主体的に学習に取り組むことができるようになりつつある。 ○教員のアドバイスをもとに、目標を達成に向け、努力することができている。	◎体育委員だけでなく、一人一人が自身の課題に向き合い、明確な目標をもったうえで学習に取り組むことができるよう、自他と対話をし、学習をする場面を確保していく。 ○基礎的な知識・技能を身に着けることができるように、振り返りの場面を作るとともに、より多くの仲間の様々な意見を聞くことができるようなグループ設定をする。
第3学年	○自他の学習を振り返る場面を設定することで、仲間と課題解決の方法を分析し、学習を進めることができるようになった。 ○様々な角度から運動とのかかわり方を考える中で、運動と関わることの意味を考えられるようになった。	○学習カードでまとめたことを、次時の授業の活動に生かし、学習に取り組むことで、課題解決に向け、た質の高い学習活動を行えるよういなってきている。また、課題を分析できるようになる中で、仲間への具体的なアドバイスも増えている。	◎単元ごとに「できる、わかる、見る、支える」という視点でどのようにスポーツと関わることができるか具体的に確認をする中で、生涯にわたるより良いスポーツライフの実現に向けた礎を構築する。 ○実技のポイント、つまずきの実例を明確に示したうえで、生徒たちが、仲間とともに自身に合う練習方法を考え、行う場面を作る。また、視覚的に自他の課題を見つけることができるようICT機器を使う場面を増やす。 ○課題に気づくことができるような発問を個に応じてその都度、教員から投げかける中で、自ら課題に気づき、課題解決に向け、学習に取り組むことができるようにする。